

お話を
伺いました



まちラボみたか
副代表
四柳 千夏子さん



一般社団法人みたかSCサポートネット
小林 広美さん 宮浦 輝子さん

(画像左上から時計回りに)四中ゆないとの1年間。
春に活動を開始し苗の植え付け、夏にかけては畑
の世話がメイン。秋に収穫。並行して秋から、さ
つまいもで何を作るか、価格、ラベルデザインなど
を各専門家の協力を得て決定。冬頃にはすべてを
決めて製造業者に発注。その後は来春の販売会に
向けて販売方法、PR活動などをさらに詰めていく。

春～夏 いもを育てる



秋 いもを収穫



3月 販売会



秋～冬 企画会議

みたかジュニアビレッジ
四中ゆないと

新しい放課後活動にキャリア教育 未来を切り開く力を育む中学生

技術革新が急速に進み、多くの仕事
がAIやロボットに置き換わる社
会が来るといわれるなか、人間に求
められる力として、社会生活でのよ
うに働き、生きるかを学ぶ「アントレ
プレナーシップ教育」が今、注目を
集めています。イノベーションをも
たらし新しい価値を生み出す思考や
行動を学ぶことは、起業する人に限
らずあらゆる職業で求められ、これか
ら大人になるすべての子どもにも必要
という考えです。多摩地域でいち早
くこのアントレプレナーシップ教育
に取り組む三鷹市立第四中学校の「四
中ゆないと」を運営する、「まちラボみ
たか」の副代表・四柳千夏子さんと、
活動を支援する一般社団法人みたか
SCサポートネットの小林広美さん、
宮浦輝子さんにお話を伺いました。

農業から收支報告まで 体験から得る学び

「四中ゆないとは、子どもたちの多
様で豊かな新しい放課後づくりに向
けた市の取り組みみたかジュニアビ
レッジの一つとして、2021(令和
3)年度に始まった事業です。まちラ
ボみたかが総合的な運営を、みたか
SCサポートネットが学校との調整や
生徒のサポート役として関わり、授業
でも部活動でもない中学生の主体的
な取り組みとして、さつまいもの育成
と収穫、それを使った商品の開発、販
売、そして收支報告などを一年かけて
実践しています」と四柳さん。

二期目の今年度は、初年度から継
続して参加した5名を含む19名が参
加。生徒はもちろん大人も農業未經
験だったため豊作には程遠かった初年
度の失敗を活かし、近隣農家の方に土
づくりのノウハウや日当たりの工夫な
どを教わり実践した結果、初年度を大
きく上回る量を収穫することができ
ました。収穫後には、生徒たちが商品
の内容、価格、パッケージのラベルデ
ザイン、販売方法、PR活動などを考
え、この春に三鷹中央通り商店街の一
角などで販売会を開催する予定です。
販売する商品は初年度と同じく、
さつまいものロールケーキ「ゆない
も」。初年度、紹介されたパン屋さん
が作ってくれた試作品を食べたとこ
ろ、全員がその味に感動したことから
決定したそうですが、今年度の話し
合いではさらに改善するべく、「栄養
価が高い皮の部分を生地に練り込む
のはどうか」「利益を出すための価格
設定は」「完売のためにできる営業活
動は」など、初年度以上にアイデアが
出たとのこと。生徒の様子を近くで
見守る小林さんは、
「活動でいろいろな専門家に直接話
を聞けたり、授業とは違う学びがあ
ることを良い社会勉強と感じてい
る生徒が多いです。確かに中学生の生
活では、農家さん、パン屋さん、デザ
イナーの方など地域の大人とじっく
り話す経験は少ないはず」
会計をサポートする宮浦さんは、
「価格を決める際にコストを意識し



※entrepreneurship：起業家的な精神と資質・能力を育むこと

ロールケーキゆないも販売会 2023年3月5日(日)

三鷹四中生が育てたさつまいもを使ったロールケーキ「ゆないも」を、今年度も生徒たちが販売します。初年度は販売開始から30分で完売し、購入者からは「さつまいもの味がしっかりしていてとても美味しかった。今年もまた買いたい」との声も。今年度は数を200本から500本に増やし、味も新作のプレーン皮入りを加えた3種類(他にプレーン・チョコレート)用意しますが、いずれも数に限りがありますので、当日はお早めに。

日 2023年3月5日(日) 13:00～15:00 場 みたかスペースあい(三鷹市下連雀3-28-20) ほか

料 1本2,200円(税込) 問 0422-45-1151(内線3225 教育委員会 教育政策推進室)

※冷凍。食前に冷蔵庫で4時間程度解凍



※画像は昨年度のもの